

概要

- 提案国際集会名 「STS フォーラム (Science and Technology in Society forum)」
- 総括責任者名 「尾身 幸次」
- 提案団体名 「特定非営利活動法人 STS フォーラム」
- (実施日程： 平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

国際集会の概要

1. 目標

科学技術分野における共通の価値観の確立に向けて、世界中の科学技術関係者のみならず政治家・政策担当者・経済人・ジャーナリストといった幅広い分野の人々が、科学技術の“光と影”の問題を議論し、世界規模の行動につなげていくこと。

2. 必要性

STS フォーラムは事務局を日本に置き、毎年年次総会を京都で開いている。STS フォーラムは日本で実施されている、科学技術と人類の未来に関する最大の国際会議であり、国際的なコミュニケーションの場として定着しつつある。まさに国際政策対話の実現・科学技術外交の推進そのものである。

3. 具体的内容

テーマ： 科学技術の光と影 Lights and Shadows of Science and Technology

- ・エネルギーと環境
- ・原子力の安全と将来の開発
- ・国際保健における新しい挑戦
- ・食糧と人口
- ・将来の情報通信技術は、経済活動とその他社会の側面の何を変えるか
- ・ナノテクノロジー
- ・長期にわたる持続可能性
- ・産学官連携
- ・科学技術外交
- ・気候変動
- ・マスメディアの役割
- ・新しい教育モデル

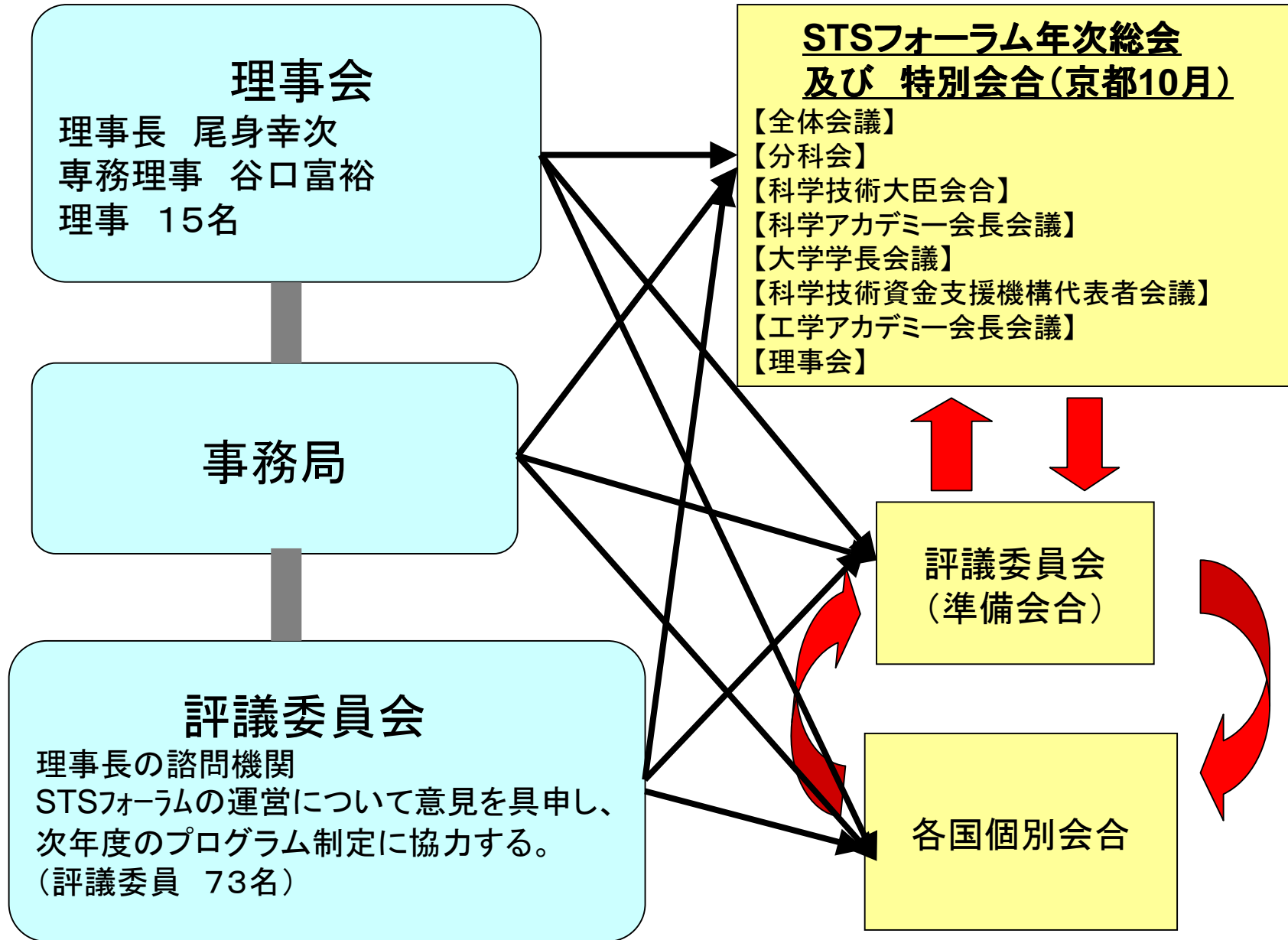
4. 実施計画

- (1) 第 8 回 STS 年次総会及び特別会合
- (2) ワシントン会議・欧州会議
- (3) 各国個別会合

実施体制

理事長 尾身幸次
事務局長 芹澤ゆう

実施体制図



実施内容

STSフォーラム (Science and Technology in Society forum)

テーマ: **科学技術の光と影** Lights and Shadows of Science and Technology

STSフォーラム年次総会 及び特別会合 (京都 10月)

【全体会議】

【分科会】

【科学技術大臣会合】

【科学アカデミー会長会議】

【大学学長会議】

【科学技術資金支援機構代表者会議】

【工学アカデミー会長会議】

【理事会】

各国個別会合

世界各国におけるテーマ・
内容及びスピーカー候補者についての議論と、
京都会議への招聘

評議委員会 (準備会合 ワシントン DC 1月)

理事会・評議委員会の開催
STSフォーラム年次総会におけるテーマ・
内容及びスピーカー候補者についての議論と、
京都会議への招聘

評議委員会 (準備会合 欧州 5月)

理事会・評議委員会の開催
STSフォーラム年次総会におけるテーマ・
内容及びスピーカー候補者についての議論と、
京都会議への招聘

各国個別会合

世界各国におけるテーマ・
内容及びスピーカー候補者についての議論と、
京都会議への招聘

ミッションステートメント

- 提案国際集會名 「STS フォーラム (Science and Technology in Society forum)」
- 総括責任者名 「尾身 幸次」
- 提案団体名 「特定非営利活動法人 STS フォーラム」
- (日程： 平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(1) 国際集會の概要

科学技術の発達が人類により大きな便益と福音をもたらすことが期待される一方で、人類と地球環境を脅かす存在にもなりうるとの認識のもと、世界各国の科学者、政治家、経済人、ジャーナリストが一堂に会して科学技術の“光と影”、科学技術と人類の未来に関して議論するフォーラムを開催することにより、人類の発展と調和した科学技術の適切な発達に寄与することを目的とする。

テーマ： 科学技術の光と影 Lights and Shadows of Science and Technology

1) 第 8 回年次総会及び特別会合

日程と構成：

平成 23 年 10 月 2 日 (日) - 4 日 (火)

10 月 2 日 開会式、全体会議及び分科会、科学技術担当大臣会合等

10 月 3 日 全体会議及び分科会、資金提供機関代表者会議等

10 月 4 日 議論総括及び全体会議、閉会式

参加予定の国・地域： 新参加国を含め 100 カ国以上の国・地域及び
国際機関

参加予定者数： 内外計 約 1,000 人

2) 理事会・評議員会・各国個別会合

(2) 終了時に見込まれる具体的な成果

1. 第 8 回年次総会における Statement

3 日間にわたって行われた全体会議・分科会を通じて得られた議論をもとに取りまとめ、公表する。

2. 国際政策対話の実現・国際的なコミュニケーションの場の定着

世界各国からの参加者による科学技術大臣会合・科学アカデミー会長会合・大学学長会合・科学技術資金支援機構代表者会合・工学アカ

デミー会長会合を開催する。

(3) 期待される波及効果

世界中の政官産学界等のトップリーダーが集まり、科学技術の“光と影”の問題について議論することにより、STS フォーラムを通じて得られる成果が各国内での議論、さらには、今後国際社会において行われる分野別あるいは二国間・多国間の議論にまでも影響を及ぼし、波及していくことをねらいとしている。このような STS フォーラムを継続して開催し、世界のリーダーのための運動に成長することにより、人類のよりよい未来の建設に貢献していくことを目指している。